



長崎市立矢上小学校 学校だより
『笑顔が花咲く矢上小』

合い言葉「安全安心で楽しい学校」

もっと！よく学び よく遊べ」

令和7年6月24日

NO. 17

校長 白水 聡

教育週間

6月19日から25日までは、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が行われています。命を大切にすることについて、講話や道徳の授業、地域と連携した取り組みなどをとおして、子供たちに学ばせたいと考えます。

6年生は八郎川防災授業を行い、長崎大水害の歴史を教訓に、自分の命を守るための行動の仕方を学びました。写真は慰霊の灯ろう作りの様子です。犠牲になった方々への思いを込めて、一人一人が熱心に作っていました。



6年生のみんなが作った灯ろうは、7月13日（日）の18時30分から長崎大水害慰霊碑広場及び長龍寺公園で灯されます。



6月21日は土曜授業で授業参観を行いました。のべ、397名の保護者の方々にお越しいただき、誠にありがとうございました！普段以上に張り切って話したり聞いたり、活動をしたりする姿が見られ、微笑ましかったです。

道徳の授業も、各学年、それぞれの発達の段階に応じたものになっていたと思います。

思いを話したり書いたりすることについては、まだまだ指導が必要です。今後も、授業の中で多く取り入れていきたいです。

また、保護者の方にも協力していただきながら学習している場面を見かけました。右の写真のように、1年生はタブレットパソコンの使い方を覚えなければいけません。親子で取り組んでいただくことで、効率よく習得することができると感じました。

時折、動かなくなったり、スピードが遅くなったりするパソコンもあります。まだまだ入力にも時間がかかります。

持ち帰った際には、ぜひ、ご家庭でもサポートしていただき、より効果的な学習用具として活用してほしいと願っています。



下校時には「防災引き渡し訓練」を行いました。お忙しい中、また、蒸し暑い中、たくさんの保護者の皆様のご参加をいただきました。立哨指導をされた地域の方にも感謝申し上げます。

矢上小学校は車での送迎が難しい学校ですので、このようなときには、徒歩でお願いしたいと思います。大雨、地震、津波、不審者など、徒歩でもリスクは大きいと想定されますが、何より、お子さんの命を守ることを最優先に考えていきます。そのときの状況に応じた臨機応変な対応をよろしく願います。

本当に、いつ本番が起きるかわかりません。テトル配信を、こまめに確認しておいてください。